

「情報社会の問題解決」における 思考力・判断力・表現力の指導方法と評価についての研究 －SNSのプロフィールを題材とした デジタル・シティズンシップの育成を目指して－

1 単元や課題の設定理由・ねらい

高等学校学習指導要領では、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解し、情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する力を身に付けることができるよう指導すると記載されている。

また、坂本（2020）は、欧州評議会（Council of Europe）が公開した Digital Citizenship Education Trainers' Pack の冒頭を翻訳し、デジタル・シティズンシップとは「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のこと」であり、デジタル・シティズンシップ教育を「優れたデジタル市民になるために必要な能力を身に付けることを目的とした教育」として、新しいテクノロジーがもたらす機会を考慮し、情報に基づいた選択ができるようになることを目的としていることを紹介している。

そこで本研究では、SNSで写真の発信や共有を日常的に行う際、目的に応じて、適切に選択、判断して活用する力を育成したいと考えた。SNSでの個人情報の取り扱いに着目して、利用する目的に応じて個人情報の取り扱いがどのように異なるかを考え、デジタル・シティズンシップを育成する指導方法と評価について研究した。

2 研究内容

(1) 単元の目標

情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて理解し、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する活動を通し、情報モラルに配慮して情報を発信する力を身に付ける。

(2) 学習活動に即した評価規準（「思考・判断・表現」の観点のみ）

- ・「個人」と「企業・有名人」のプロフィールに掲載する項目の違いとその理由を記述できる。

個人のプロフィールと企業や有名人のプロフィールを比較し、掲載する項目の違いを記述し、その理由として「①個人のプロフィールでは自分が特定されることを避ける必要がある」「②企業や有名人のプロフィールでは自分が特定されることを目的としている」のどちらか一方の理由を記述することができる。

(3) パフォーマンス課題及びその概要

ア パフォーマンス課題

SNSのプロフィールに掲載する内容について、想定された人物によって掲載すべき内容と掲載すべきでない内容を考えよう。

イ 授業の進め方

個人が特定された場合の実際のトラブル事例を示し、トラブルに巻き込まれないためにはどうすればよいかを考えるよう指示する。

高校生を想定して、日常の出来事を共有することを目的としてSNSを利用する場合で、プロフィールに掲載すべきでない項目について考えるよう指示する。その際、基本的には個人が特定される情報は掲載すべきでないことを再確認する。

次に、政治家や公的アカウント、YouTuber やインフルエンサー、会社の広報を想定した「担当人物カード」を各グループに割り当て、プロフィールに掲載すべき項目と掲載すべきでない項目、それぞれの理由についてグループで話し合い、発表を行う。また、グループでの話し合いの結果をまとめ、文章でワークシートに各自記述するよう指示する。

ウ ワークシートについて

プロフィール、大丈夫！？

(個人情報の取り扱いについて)

年 組 番
名前 _____

ネットワークを利用し人とコミュニケーションを取り合っていく現代社会では、自身の特定につながる情報(個人情報)をどこまで掲載するのか、自身の判断が必要になる。また、会社などの広報にネットワークを活用することもあるが、どのような情報を掲載すべきか考える必要もある。

ここでは、実際にコミュニケーションを行えるサイトにプロフィールを登録する場面を想定して、個人情報の取り扱い方について考えてみよう！

1.【個人作業】プロフィール作成の際の注意点

SNS などのプロフィールに関して、載せない方がよいと思う情報にバツマークをつけなさい。

住所 居住区域 氏名 自分で考えた名前 生年月日 星座 血液型 性別 身長 体重 服サイズ

電話番号 メールアドレス 他の SNS の ID 所属(学校・会社) 学年クラス 部活 パスワード

顔写真 写真(制服・ユニフォーム) 風景写真(生活圏) 集合写真(クラス・部活) イラスト(似顔絵)

他人の書いたイラスト その他個人情報で連想できるもの()

2.【グループ作業】削除すべき項目とその理由

下にある人物のプロフィールの例で、削除すべき項目とその理由について話し合い、書き出してみよう！

【〇〇高等学校に在学中のナナオヒカルさん】のプロフィール

～～ 削除すべき項目とその理由 ～～



このまま載せたらどうなる？

このプロフィールから風志削除しなかった場合に、起こる可能性のある困った出来事を書いてみよう

- ・
- ・
- ・

3.【グループ作業】掲載すべき項目とその理由

各班で担当する人物のプロフィールの例で、掲載すべき項目とその理由について話し合い、書き出してみよう！

【】のプロフィール

～～ 掲載すべき項目とその理由 ～～



4.【個人作業】人によって掲載すべき/削除すべき内容に違いがでる理由

他グループの発表を踏まえ、掲載すべき/削除すべき内容の判断が担当する人によって異なった理由を下の枠内に記述しよう。【グループ作業】書き終わったらグループ内でお互いの意見を交換しよう。《個人情報だから×》

違い【】
理由⇒

5.【個人作業】今回の活動を通し、実際の自分のプロフィールを見直したり、書き直したりしようと思いましたが、思った場合、思わなかった場合、どちらの場合もその理由を書いてみよう。SNS を使用していない人は、SNS を使用しない理由について書いてみよう。

(思った ・ 思わない ・ 使用していない)

エ 担当人物カード

	<p>あおかわ そうた 青川 蒼太</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治家の卵（今は秘書） 日本の未来を良くしたい 市会議員に立候補予定 2児のびく 休日は少年野球のコーチ 実は仕事よりも野球コーチに力を入れていて、情報交換できる仲間が欲しい 		<p>あおた あお 青田 碧</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治家の卵（今は秘書） 市会議員に立候補予定 政治活動は社会の多様性がテーマ 自身がトランスジェンダーであることを公言するが迷っている 休日は遠足巡り
	<p>あかぎ ひいろ 赤木 緋色</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方公務員 撮り鉄 同じ趣味の仲間が欲しい 撮り鉄仲間と旅行に行けたら嬉しいな・・・ 既婚 妻に内緒で買った10万円のレンズが自慢 		<p>あかがわ べにこ 赤川 紅子</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生 ボルダリング好き 就職活動中 就職を延期して地球一周しようか迷っている 地球一周の仲間が欲しい 中華料理屋でバイト中 バイト先店長に SNS で宣伝を頼まれている

	<p>みどりかわ すい 緑川 翠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ・友達とバンドを組んでいる (禁止なので学校に内緒) ・地元ライブハウスでたまにライブする ・バンドの人気は出て欲しいが学校にバレたくない ・弁護士になりたい 		<p>みどりやま りく 緑山 緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ・ゲーム実況が趣味 ・SNSはゲーム実況関連の書き込みのみ ・実況を見てくれる人を増やしたい ・将来、あわよくば実況で食べていきたい ・無理なら親戚の会社に就職
	<p>おうだ こうた 黄田 黄太</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラマー ・転職でどんどんステップアップしていきたい ・外資系で働きたいので英語勉強中 ・自作プログラムを公開している(ハッドハンティングされたいな) ・彼女募集 		<p>やまぶき どうこ 山吹 橙子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品メーカーの研究者 ・自社食品をたくさんの人に知って欲しい ・化学の観点から自社食品の情報を発信したい ・小学生男子の母 ・各地の小学校を回って実験教室を開催する会社をいつか立ち上げることが夢

(4) ループリック

達成度	観点の説明
<p>A (十分満足できる状況)</p>	<p>個人が特定される情報をSNSに掲載することの危険性を理解するとともに、SNSを利用する目的によって、個人情報に掲載することもあり得ることについて理解し、その理由を記述することができる。</p>
<p>B (おおむね満足できる状況)</p>	<p>個人が特定される情報をSNSに掲載することの危険性を理解するとともに、SNSを利用する目的によって、個人情報に掲載することもあり得ることについて理解できる。</p>

(5) 基本となる指導の流れ

時限	学習活動	指導上の留意点
1	<p>○個人情報のトラブル事例について学習する(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の投稿によるトラブルについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人アカウントのトラブル事例や企業のトラブル事例など、複数のパターンを用意しておく。
	<p>○プロフィール作成の際の注意点について確認する(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどのプロフィールに関して、載せない方がいい情報を選択する。 	
	<p>○個人のプロフィール例から削除すべき項目をグループで話し合う(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習後、個人情報の取り扱いについての解説を行う。 ・必要があれば、導入時のトラブル事例

<ul style="list-style-type: none"> ワークシートのプロフィール例を基に、削除すべき項目とその理由を書く。 グループごとの意見を全体で共有し、SNSに情報を掲載することの危険性について確認する。 	<p>について解説を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人に関わる情報、居場所が分かる情報は原則として掲載しないことを確認する。
<p>○立場の異なる人物のプロフィールを読み、SNSに掲載すべき項目をグループで話し合い、発表する（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業・有名人のプロフィールの書かれた「担当人物カード」を一つ選択し、プロフィールとして掲載すべき項目とその理由をグループで考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループのまとめを発表することを予告しておく。 グループワークの進め方を各グループで決めるよう指導する。
<p>○個人のプロフィールと企業・有名人のプロフィールを比較し、記載する内容の差異とその理由を考える（10分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 記載内容の違いを明確にするよう指示する。
<p>○自分のプロフィールを振り返る（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を受けて、自分の個人情報の投稿を見直すかどうか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が立場や目的を考えて情報を取り扱うことができるように、デジタル・シティズンシップの考え方について説明する。

(6) 評価の進め方（評価方法）

ワークシートの記述により、個人のプロフィールと企業や有名人のプロフィールを比較し、SNSを利用する目的によって、掲載すべき項目と掲載すべきでない項目を挙げ、その理由を両方の側面から記述できているものを評価Aとし、どちらか一方の側面のみ記述できている場合は評価Bとする。

3 授業の状況

(1) 指導するに当たって、学校の状況に応じて留意したことやその理由

パフォーマンス課題において、理由を記述させる際に、「個人情報だから」などの抽象的な表現ではなく、より具体的な場面を想定した考えを述べるよう指導した。

幅広い立場で考えることが必要であるため、発表時間を十分に確保し、他のグループで取り上げた「担当人物カード」に関する意見を聞くことができるよう留意した。

各学校の生徒の状況や校内のルールに合わせて、「担当人物カード」のプロフィールを変更することも考えられるが、今回はどの学校も共通の職業や条件で「担当人物カード」を利用した。

(2) 授業実践後に協議して設定したルーブリックと典型的な作品例

達成度	観点の説明	生徒の作品例
A (十分満足できる状況)	個人が特定される情報を SNS に掲載することの危険性を理解するとともに、SNS を利用する目的によって、個人情報に掲載することもあり得ることについて理解し、その理由を記述することができる。	<p>違い：本名，顔</p> <p>理由： 市会議員に立候補する予定なので，本名と顔写真のある方が，多くの人に知ってもらえる。個人で本名をさらした場合，悪用されたりして，あぶないと思ったから</p> <p>[評価に対する注釈] ・政治家の例で，「多くの人に知ってもらえる」場合と「本名をさらした場合に悪用される」場合の両方の面が記述できている。</p>
B (おおむね満足できる状況)	個人が特定される情報を SNS に掲載することの危険性を理解するとともに、SNS を利用する目的によって、個人情報に掲載することもあり得ることについて理解できる。	<p>違い：「2. 削除すべき項目」は顔名前 NG，「3. 掲載すべき項目」は顔名前 OK</p> <p>理由： 有名人のプロフィールでは自分が立候補した際に，多くの人により印象をもってもらえていけば当選する可能性があがるから</p> <p>違い：誰に見られるのか，誰に見せたいのか</p> <p>理由： SNS の使用目的と公開範囲が異なるから</p> <p>[評価に対する注釈] ・顔や名前を出してもよいとした理由について，政治家がよい印象をもってもらえるため，という側面は記述できているが，掲載すべきでない場合の理由について記述できていない。 ・公開範囲が異なるから，という記述にとどまっている。</p>

C (努力を要する状況)	立場や状況に応じて掲載する、掲載しない理由について、記述できていない。	(作品例省略) [評価に対する注釈] ・「嫌だから」のような感情のみを記述しており、理由の説明がない。 ・立場の違いについての考えが記述されていない。
-----------------	-------------------------------------	--

(3) 「C（努力を要する状況）」と評価した生徒への指導の手だて

立場の違いによる記述ができていない場合は、自分の担当したカードだけでなく、他のカードを示して、別の立場の考えを引き出し、「人によって違う理由は何か」という問いかけをすることで、改めて立場の違いについて考えるよう指導した。

文章を書くことが苦手な生徒で、立場の違いにより掲載する項目が違うことは理解できているが、自分の言葉で記述することができていない場合は、ワークシートの「2. 削除すべき項目」「3. 掲載すべき項目」で違いが生じた項目を、箇条書きで抜き出してから、自分の言葉で表現するよう指導した。

4 まとめ及び考察

(1) 実習課題について（生徒の取組状況も含めて）

実習の中で、生徒の個人情報の取り扱い状況があまりよくないことや「SNS等は利用しておらず、今後も利用しないから大丈夫」といった考えをもつ生徒がいることが分かった。しかし、さまざまな職業や年齢、状況を想定した課題について、具体的な例を示すことで、現在の自分だけでなく、これから先の自分が個人情報をどのように取り扱うか、しっかりと考える機会となり、考え方が大きく変わった。グループでの話し合いの時間を十分に確保することで、生徒は自分の考えを客観的に捉え、深化させることができた。そこから、改めて自分の考えを記述してまとめることで、個人情報を掲載させるか否かといった問題を自分のこととして捉えることができた。

教員が一方的に説明する授業ではなく、さまざまな人物の立場で考えるよう促すことで、生徒は個人情報の取り扱いに配慮することが必要なことを理解でき、デジタル・シティズンシップについても、体感的に学ばせることができた。

(2) 評価について

掲載すべきでない項目と掲載すべき項目を対比させながら考える課題設定をしたことで、客観的、多面的に文章を記述する力が養われた。その文章の記述から思考・判断・表現を評価することができた。しかし、掲載してはいけない理由に「個人情報だから」という言葉を使用している生徒が多くおり、なぜ、個人情報を載せてはいけないか本質的な答えができていない生徒も多くいたため、評価Bとなる生徒が多かった。

(3) 授業実践の改善に向けて

掲載してはいけない理由の本質に踏み込んで答えられるよう、「個人情報だから」という回答をした場合、「なぜ、個人情報を掲載してはいけないか」について答えられるように指導する必要がある。

個人のプロフィールの削除した項目と企業・有名人のプロフィールの掲載すべき項目で差異が起こった理由を記述する場面では、生徒が意見を発表する機会を設けたが、アプリなどを活用して意見を集約する方法も考えられる。

また、SNSを利用している生徒と利用していない生徒で、グループ内の意見が大きく分かれることがあったが、意見の違いについて話し合う時間を多くとることで、よりデジタル・シティズンシップの育成につながるだろう。

参考文献と参考URL

坂本（2020）：「欧州評議会 デジタル・シティズンシップ教育研修資料集 (Digital Citizenship Education Trainers' Pack)」坂本旬 note

<https://note.com/junsakamoto/n/nb09deb70a86a>（最終閲覧日：令和5年2月22日）

Council of Europe (2020) : Digital Citizenship Education Trainers' Pack